

ROHM CLASSIC SPECIAL

RoHM Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

NHK交響楽団 京都特別演奏会

NHK Symphony Orchestra Special Concert in Kyoto



指揮者 Conductor
秋山 和慶 Kazuyoshi Akiyama



Program

A.ドヴォルザーク
A. Dvořák

チェロ協奏曲 短調 Op.104

Cello Concerto in B minor Op.104

[チェロ独奏 宮田 大]
Cello Solo : Dai Miyata

L.v.ベートーヴェン
L.v. Beethoven

交響曲 第7番 長調 Op.92

Symphony No.7 in A major Op.92

チェロ独奏 Cello Soloist
宮田 大 Dai Miyata



2022.

8月20日(土) 16:30開演 (15:30開場)

ロームシアター京都 メインホール

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

チケット料金 (全席指定・消費税込)

S 6,000円

A 5,000円

B 4,000円

C 3,000円

チケットお取り扱い

ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201 (窓口・電話とも10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231 (窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:217-467] ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:53265]

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> (PC・携帯・スマートフォン) エラート音楽事務所 075-751-0617 ※電話予約のみ

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※新型コロナウイルス感染症対策のため出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催:公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協賛:ローム株式会社

お問合せ:エラート音楽事務所 075-751-0617



NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra

NHK交響楽団は1926年10月5日に新交響楽団の名称で結成された。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなりNHK交響楽団と改称。この間、ドイツからジョセフ・ローゼンストックを専任指揮者として迎え、日本を代表するオーケストラとしての基礎を築いた。演奏活動の根幹となる定期公演は1927年2月20日の第1回予約演奏会に始まり、第2次大戦中も中断することなく続けられた。以来、今日に至るまで、ヘルベルト・フォン・カラヤン、エルネスト・アンセルメ、ヨーゼフ・カイルベルト、ロヴロ・フォン・マタチッチ、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ロリン・マゼールなど世界一流の指揮者を次々と招聘、また、話題のソリストたちと共演し、歴史的名演を残している。コンサートは年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏は、NHKのテレビ、FM放送で日本全国に放送されるとともに、国際放送を通じて全世界にも紹介されている。また、2013年8月にはザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春にベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。

近年は次世代を育てる教育プログラムとして、オーケストラの人材を育成する「N響アカデミー」、全国の学校を訪問し身近に音楽の楽しさを提供する「NHK子ども音楽クラブ」など多彩な活動を行っている。また東京2020オリンピック閉会式では「オリンピック賛歌」の演奏を担った。

コロナ禍の影響により2020-21シーズンの定期公演はすべて中止せざるを得なかった。しかし、専門家の監修のもと「N響感染対策ガイドライン」をいち早く作成し、それに則って「特別公演」を毎月開催。制約の多い日々を過ごす人々に演奏会場や放送を通じて音楽を届け続けた。

指揮者陣には、首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、名誉音楽監督シャルル・デュワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージ、正指揮者 外山雄三、尾高忠明を擁している。



秋山 和慶 (指揮) Kazuyoshi Akiyama, Conductor

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学卒業。翌年東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督などを歴任。また、NYフィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、ケレン放響、スイス・ロマンド管など世界の一流オーケストラに客演。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞、京都音楽賞大賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。

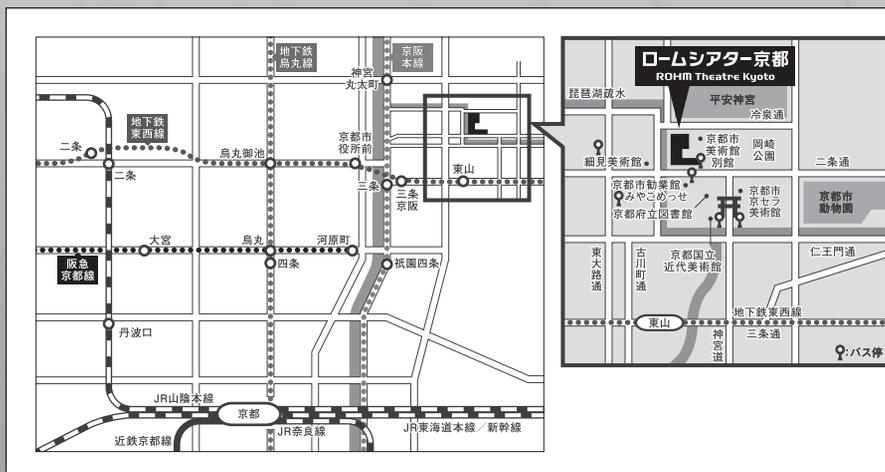
現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



宮田 大 (チェロ) Dai Miyata, Cello

2009年、ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日〜チェリスト・宮田大・25歳〜」「ららら♪クラシック」「題名のない音楽会」「徹子の部屋」などへ出演している。録音活動も活発で、2021年発売の最新アルバムは、ウェールズ弦楽四重奏団、三浦一馬、山中惇史らを迎えた「Piazzolla」をリリース。2020年はギタリスト・大萩康司との初のデュオアルバム「Travelogue」。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞。

近年は国際コンクールでの審査員や、2019年ローム ミュージック セミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A.ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。



ロームシアター京都

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL.075-746-3355

ACCESS

- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 1番出口より徒歩約10分
- 市バス32系統、46系統、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5系統、86系統、「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31系統、201系統、202系統、203系統、206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分